



福島出身の大臣だからこそ

「おばんです」。そう言いながら、吉野正芳・復興大臣は会議室に入ってきた。昨年暮れ、東京電力福島第一原発事故による県外避難者らの支援団体との意見交換会に出席した時のことだ。実直そうな人柄とお見受けして、実り多い意見交換会になると期待したのだが、その内容に触れる前に大臣就任の経緯を振り返ってみる。

前任の今村雅弘氏は昨年4月、閣議後会見で原発事故の自主避難者について「本人の責任でしょう。裁判でも何でもやればいじやないか」と言い放ち、東日本大震災をめぐって「東北で良かった」などという失言を繰り返し、復興大臣を辞任した。自主避難者の多くは、国の定めた放射線量の基準に不安がぬぐえず、故郷を離れる決断をしたのである。強制的に避難させられた人に比べて行政の支援は手薄で、この時期、避難先の家賃の無償支援が打ち切られたばかりだった。今村氏の言動には、自主避難の決断を自己責任で片付け、国策として原発を推進してきた政府の責任に向き合う姿勢はみじも感じとれなかった。

後任に起用された吉野氏は福島出身であり、それだけに原発事故で全国に避難している同郷の人たちの苦境を理解してくれると期待を集めた。

さて、支援団体との意見交換会である。

吉野氏は大臣就任直後から、全国に26カ所ある原発避難者の生活再建支援拠点の訪問を始めた。生活再建支援拠点とは、福島県が復興庁の被災者支援総合交付金を活用して、県外避難者を対象に生活再建の情報提供や相談業務などを行う活動拠点であり、NPOなど支援団体に事業を委託している。全国の拠点をめぐって、支援団体から聴き取りをして国の施策に反映しようというのである。

昨年暮れの意見交換会は全国15カ所目で、吉野大臣と副大臣、復興庁の官僚らが出席。大阪、兵庫、奈良の3府県の支援団体代表らとともに、県外避難に関する政策提言をしてきた災害復興制度研究所のメンバーも参加して意見を述べた。研究所の山中茂樹顧問は県外避難者を対象にした調査結果をもとに「原発避難者援護基金の造成」「二地域居住のできる二重住民票や準市民制度の創設を」と訴え、研究員の津久井進弁護士は一人ひとりの被災者の課題に応じた生活再建の計画を立てて実行する災害ケースマネジメントの取り組みの重要性を説いた。

だが、その意見に対する返答はなく、感想すら述べられずに懇談が続いた。支援情報の提供に後ろ向きな地元自治体の職員も出席しており、国が自治体にお灸をすえるという「成果」で意見交換会は終わろうとしていた。

なぜ、福島からの県外避難者は帰還できないのか。その思いに向き合ってもらおうと、吉野大臣らを引き留めて根本的な二つの問題を伝えた。放射能への不安が消えないことが帰還を思いとどまらせているのであり、背景にあるのは年間積算線量が「20ミリシーベルト以下」という避難指示解除の要件となった基準であること。水俣病の公害がいまなお解決しないのは汚染地域に居住歴のある住民の健康被害について悉皆調査が一度もなされていないことにあり、原発事故の影響を把握するためにも甲状腺検査などを全国の小中学校で行うことの必要性を指摘した。

原発を「重要なベースロード電源」と位置づける安倍政権の閣僚として容易いことではないが、福島出身の大臣だからこそやるべきことがあるはずだ。そんな思いを込めて話したのだが、真意は伝わっただろうか。(野呂雅之)

★関西学院大学災害復興制度研究所人事

- ▽リサーチ・アシスタント 金 太宇 退任 (3月31日付)
- 濱田武士 着任 (4月1日付)
- ▽研究 所 職 員 高岡珠美 退職 (3月31日付)
- 後任者着任予定 (4月1日付)

日本災害復興学会 会員募集中!!

入会をご希望される方は、日本災害復興学会のHP(<http://www.f-gakkai.net/>)より「入会申込書」をダウンロードのうえ、下記の事務局まで郵送にてお申込ください。

(1) 申込書送付先

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学災害復興制度研究所内
日本災害復興学会事務局
TEL: 0798-54-6996

(2) 入 会 金 3,000円

(3) 学 会 費 (年額)

- 1) 正 会 員 7,000円
- 2) 学 生 会 員 3,000円
- 3) 購 読 会 員 6,000円
- 4) 賛 助 会 員 一口: 50,000円

■西宮上ヶ原キャンパス

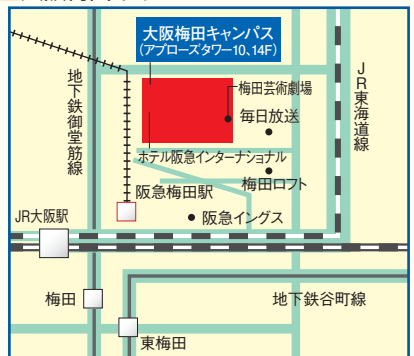
■西宮聖和キャンパス



■神戸三田キャンパス



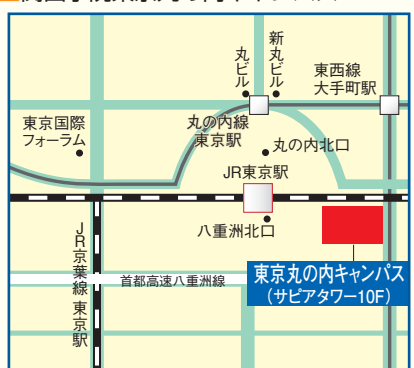
■大阪梅田キャンパス



阪急梅田駅茶屋町口から北へ徒歩5分

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19
アプロースタワー 14階
TEL: 06-6485-5611

■関西学院東京丸の内キャンパス



JR東京駅八重洲北口から徒歩1分

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー 10階
TEL: 03-5222-5678



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
災害復興制度研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
TEL: 0798-54-6996 FAX: 0798-54-6997
<http://www.kwansei.ac.jp>
URL: <http://fukkou.net/> E-mail: kgu_fukko2005@fukkou.net